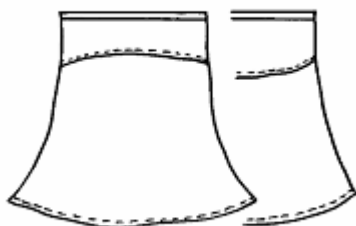


Recherche 00005 アーバンスカート仕様書



布帛用

パターンパーツ数 6

左脇あき(コンシールファスナー)有り

右脇シームポケット有り

～付属品～

伸び止めテープ

コンシールファスナー

接着インサイドベルト(3 cm巾)もしくは接着芯

ウエストゴム(2.5 cm巾)

ホック

サイズ	80	90	100	110	120	130
スカート丈	21	23	30	32.5	35	39.5
ウエスト	44	46	49	51	53	55
前ウエスト	24.5	25.5	27	28	29	30
後ウエスト	19.5	20.5	22	23	24	25

- 裁断前に必ず地直しを行ってください。
- コンシールファスナーはファスナーあき寸より3～5 cm以上長いものを用意してください。
- わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転売はご遠慮ください。

裁断

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

前ヨーク

後ヨーク

前スカート

後スカート

ウエストベルト

ポケット表地

ポケットスレキ

ノッチ(合印)を入れます

※ ノッチ(合印)とは、縫い代に 0.3~0.5 cmの切り込みを入れることです。

各所縫い合わせの時はノッチどうしを合わせるようします。

伸び止めテープを貼ります

ヨークとスカートのポケット口の縫い代部分に 10~15 mm巾の伸び止めテープを貼ります。

※ポケット口止まりより両端各 1.5 cm長く貼り、ポケット口止まりにチャコペン等で印を入れます。

ロックをかけます

3 mm切り落としながら 5 mm巾ロックを「前後のヨークの両脇」「前後のスカートの両脇」「ウエストベルトの上部(完成時、裏側になる方)」「ポケット袋布(表地)・ポケット袋布(スレキ)の全周」にかけます。

ヨークとスカートを縫い合わせます



- ① 前ヨークと前スカートを中表に重ね、出来上がり線で縫い合わせます。
- ② 後ヨークと後スカートを中表に重ね、出来上がり線で縫い合わせます。
- ③ ①・②の縫い代をアイロンでヨーク側に倒します。



- ④ 表からコバステッチをかけます。
(①・②ともに)

※コバステッチとは 0.1~0.2 cmの端ミシンの事です。

ファスナー付け ※あき止りより3~5 cm以上長いファスナーを用意します

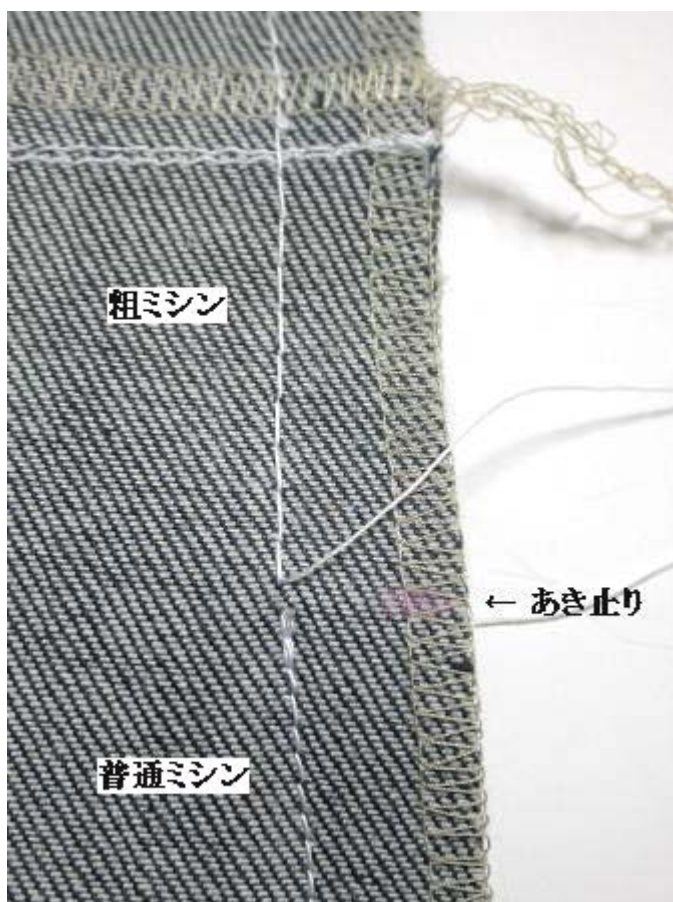


前後の見頃を中表に合わせ「あき止り~裾」を縫い合わせます。

※ 縫い始めと縫い終わりには返し縫いをします。



裾の縫い代を斜めに切り落とします。



縫い目巾の目盛りを大きく(長く)し、「あき止まり~ウエスト」に粗ミシン(ミシンじつけ)をかけます。

※ 縫い始めと縫い終わりは糸を長めに残します。

※ 返し縫いはしません。



アイロンで縫い代を割ります。



縫い代の下にクリアフォルダ等を敷き入れ、ファスナーを縫い代のみにしつけします。

※ しつけはあき止まりの 5 cm 上までします。

両側にしつけをします。

「あき止まり～ウエスト」にかけた粗ミシンをほどき、スライダーをあき止りより下まで下げます。

あき止り位置にチャコペン等で印を付けます。

押さえをコンシールファスナー押さえにします。

縫い目巾の目盛りを元に戻します。



務歯(ムシ:かみ合う部分)を押さえの溝にはめ込み、縫います。

※務歯を起こしながらできるだけ務歯の際を縫います。



しつけの終わり位置(あき止りより 5 cm上)まで縫い、針を下ろしたまま縫い線のバランスを見ます。

しつけ終わり位置～あき止り位置まで縫い進める間に 1.5～2.0 mmほど布端へそれるように縫い進めます。

あき止りよりさらに 1～2 針縫い進め、返し縫いをして糸を切ります。



※反対側から見たところ

縫い終わったらスライダをあき止りより上に引き上げます。



ペンチ等を使い、フリー下止め具をあき止りの 5 mm上に固定します。

あき止りより 2 cm下でファスナーを切ります。

ファスナーの端をそれぞれの縫い代に縫い付けます。

※ ウエスト側は返し縫いなし、あき止り側は返し縫いをします。

ポケット



前後の見頃を中表に合わせ、「ウエスト～ポケット口合印」「ポケット口合印～裾」を縫い合わせます。

※返し縫いをします。

反対側と同様に裾の縫い代を斜めに切り落とします。



縫い目巾の目盛りを大きく(長く)し、「ポケット口」に粗ミシン(ミシンじつけ)をかけます。

※ 縫い始めと縫い終わりは糸を長めに残します。

※ 返し縫いはしません。

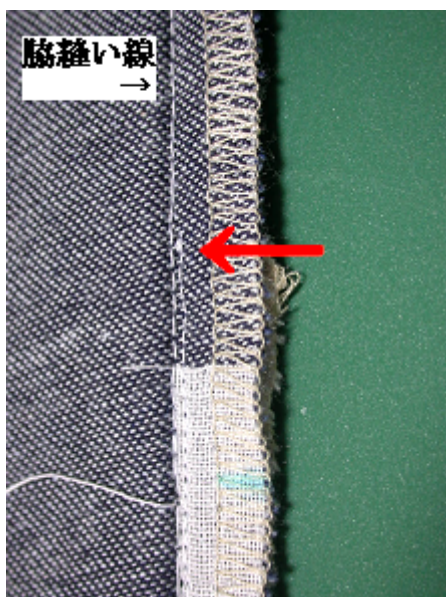


縫い代をアイロンで割ります。



前身頃の縫い代とスレキを中表に重ねます。

そのまま、見頃が上になるよう上下を反します。



見頃を上にした状態で脇の縫い目の際(縫い代側)を縫います。

- ※ 脇縫い線を踏まないように注意します。
- ※ スレキの端～端まで縫います。
- ※ 縫い始め・縫い終わりは返し縫いをします。



スレキを前身頃側に倒し、アイロンをかけます。



表からポケット口に 0.6 cm ステッチをかけます。 ※ 両端は返し縫いをします。

後身頃の縫い代とポケット袋布(表地)を中表に重ねます。

そのまま、見頃が上になるよう上下を反します。

スレキ側と同様に、見頃を上にした状態で脇の縫い目の際(縫い代側)を縫います。

※ 脇縫い線を踏まないように注意します。

※ ポケット袋布(表地)の端～端まで縫います。

※ 縫い始め・縫い終わりは返し縫いをします。



スレキと表地を重ねます。



スレキ側を上にし、袋布の外周を縫い合わせます。



※裏から見たところ

粗ミシンの糸を抜き取ります。

ウエストベルト

ヨークとウエストベルトを中表に重ねます。

※ 後ヨークの縫い代は出来上がり線で折っておきます。

※ 前ヨークの縫い代は開いておきます。



ノッチを合わせながら、ヨークとウエストベルトを縫い合わせます。

※ ウエストベルトの持ち出しの部分は縫いません。



裏側から見たところ



ウエストベルトを上げたところ



接着インサイドベルトをウエストベルトの持ち出し部分にアイロンで接着します。(※接着芯でも可)

※ 「持ち出し部分の出来上がり線～脇線+1 cm」に接着します。

※ インサイドベルトの下端はヨークとウエストベルトを縫い合わせたミシン目に合わせます。



前ウエストの「ファスナー側出来上がり線～ポケット側の脇線+1 cm」の位置まで接着します。

希望のウエストサイズになる様、ゴムの長さを調節します。



インサイドベルトの上にゴムを 1.0~1.5 cm重ね、端をミシンでたたきます。

- ※ 2本でもNでもかまいません。
- ※ 表にミシン目が出るので糸の色等を考慮してください。



反対の端もミシンでたたきます。

- ※ アジャスターゴムを仕様する場合は脇線近くにゴム替え口を作ってください。



ウエストベルトの持ち出し部分を画像のような形状で中表に折ります。



出来上がり線で縫い合わせます。



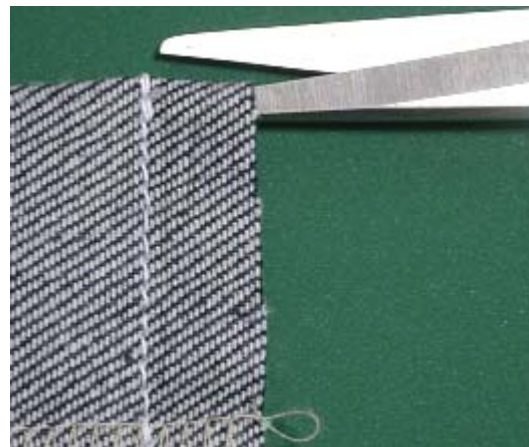
縫い目の手前まで切り込みを入れます。



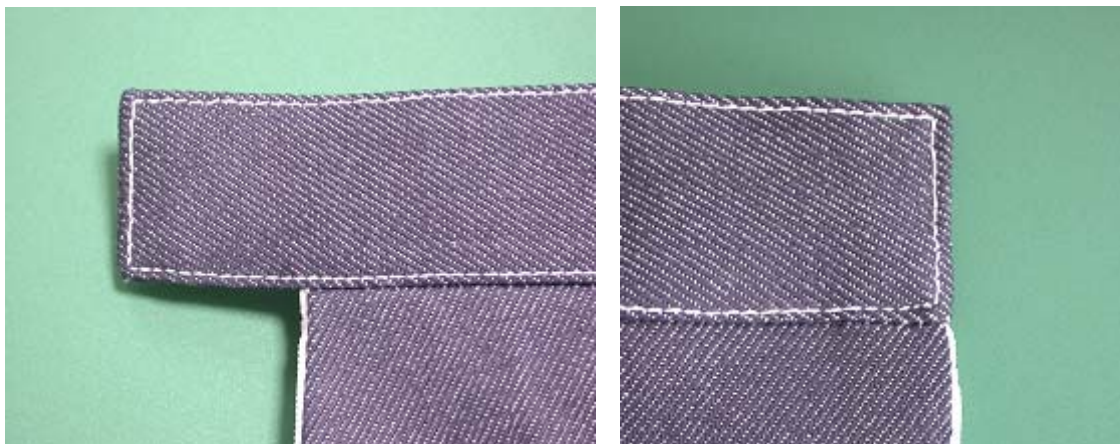
反対側(前ウエスト)の端を画像のような形状で中表に折ります。



出来上がり線で縫い合わせます。



縫い目の手前まで切り込みを入れます。



ウエストベルトを表に反し、ウエストベルトの全周に表からコバステッチをかけます。



裏から見たところ

持ち出し部分から身頃へかけての縫い代の流れは画像を参照してください。

ウエストベルトの持ち出し部分にホックを縫い付けます。

裾始末

裾にロックをかけます。

※ 作動送り機能がある場合は縮めながらロックをかけます。

出来上がり線をアイロンで折り、0.7 cmの位置にステッチをかけます。